

会 議 録

- 1 附属機関の会議の名称 水戸市観光審議会
- 2 開催日時 令和5年3月3日（金）午後2時00分から
- 3 開催場所 水戸市役所 7階 全員協議会室
- 4 出席した者の氏名
 - （1）委 員 加藤 高藏，和田 幾久郎，須田 浩和，飯田 正美，黒澤 昌寿，林 太一，藤沼 貴士，竹内 智之，鹿倉 よし江，堀井 武重，檜村 晶洋，小林 伸光，松沢 実希子，小岸 幸雄
 - （2）執行機関 長谷川産業経済部部長，小林観光課長，川俣観光課副参事，大関観光課課長補佐兼事業係長，篠原観光課企画物産係長，永井観光課主事
- 5 議題及び公開・非公開の別
 - （1）後期先導プロジェクトの進捗状況について（公開）
 - （2）水戸市観光基本計画（第4次）の策定スケジュールについて（公開）
- 6 非公開の理由
- 7 傍聴人の数（公開した場合に限る。） 0人
- 8 会議資料の名称
令和4年度水戸市観光審議会資料，席次兼委員名簿，後期先導プロジェクトについて（参考資料），水戸市観光審議会条例（参考資料）
- 9 発言の内容
別紙 会議録

令和4年度水戸市観光審議会会議録

1 開 会

2 あいさつ

- ・執行機関 長谷川産業経済部長よりあいさつ
- ・正副会長の選出
- ・水戸市観光審議会 会長よりあいさつ
- ・諮問書の交付
- ・署名人の指名
- ・定足数の確認

3 議 事

(1) 議案第1号 後期先導プロジェクトの進捗状況について

執行機関 <資料1～3ページに沿い、説明>

————— 議案第1号に関する質疑 —————

委 員 水戸城大手門や二の丸角櫓が出来て、その周辺に多くの観光客が訪れている。

(二の丸角櫓の通路については、美装化の)整備がされて、歩きやすくなったが、(観光施設以外に)お土産を買える場所やお休みできる場所がないため、そのような場所が用意されれば、より滞在型観光に繋がるのではないかと思われる。

執行機関 (弘道館・水戸城跡周辺地区の)整備については、令和2年度をもって一区切りしている。水戸大手門広場については、これまでイベントでの活用を中心に取り組んできたところであり、将来的にはベンチ等のお休み処のような機能を持たせていきたいと考えている。

今後は、イベントでの活用と合わせて、十分に検討し、(弘道館・水戸城跡周辺地区を)皆様に喜んでいただけるような場所にしていきたいと考えている。

委 員 (資料2ページの水戸観光コンベンション協会のホームページの閲覧ユーザー数について)令和2年から3年にかけて数値が倍以上となっている理由はあるか。また、観光業界でその影響や成果が出ているという実感はあるか。

執行機関 要因としては、これまで水戸観光コンベンション協会がホームページへ誘導するための仕掛けとして、各種SNSの活用に取り組んでいることがある。

また、コロナ禍において一定の期間が経過し、再びその観光情報を得ようと、旅行者の動きが活発になってきたことが要因の一つではないかと考えている。さらに、令和3年の7月17日、8月21日に開催を予定していた第61回水戸黄門まつりが新型コロナウイルス感染症の状況を鑑みて中止となり、

代替事業として水戸偕楽園花火大会 Limited×ソードアート・オンラインを開催した。この代替事業により、普段閲覧しないユーザーの方が、当ホームページへアクセスし、生配信の映像等をご覧いただいたのではないかと考えている。

(影響や成果の実感としては)多くの方が、紙媒体に加え、ホームページ等のデジタル媒体から情報を得られるようになり、水戸に関心を持つきっかけには繋がっているのではないかと考えている。

委員 全体的な分析は、これからどのような有効な施策をおこなっていくかというところに繋がっていくと思う。

そこで(資料1ページ①水戸の個性と魅力の磨き上げプロジェクト及び資料2ページ②戦略的情報発信推進プロジェクトの各現況値について)、コロナ禍における数値として他市町村に比べて良い数値だったのか等分析はしているか。他の市町村の結果を相対的に分析するべきだと思う。

執行機関 正確なエビデンスによる評価や分析まではできていないが、コロナの影響によりデジタル化の推進が重要になってきていることは、非常に実感している。

また、(資料2ページ②戦略的情報発信推進プロジェクトの現況値から)情報の入手方法について、紙媒体からウェブでのアクセスが中心となってきているということが顕著に現れており、今後の観光施策においてもデジタル・ITというのは大変重要なツールであると認識しているため、次期計画の中でも時代に即した取組として、反映していきたいと考えている。

観光交流人口については、コロナ禍において、施設における観光客のカウント方法が変更となったため、分析しづらい点があった。

(一例として)目視でカウントしていた方法をチケット販売数でのカウントに変更した例があり、その場合、これまでは目視により重複してカウントされていた部分が除かれることになり、実数として明らかになってきたという背景がある。さらに調査対象とする特定エリアが変更される等の予期せぬ要因があり、コロナの影響に加わり全体として観光交流人口が下がったと考えている。

次期計画においては、(各施設のカウント方法などを整理した上で)数値を積み上げて目標設定していきたいと考えている。

委員 ウェブでの閲覧が主流となることは、すごくチャンスだと思う。例えば、これまで京都、鎌倉や横浜などの都市が旅行会社を通し、パンフレットで情報を発信してきた。しかし水戸で同じように発信しても、(京都などに比べて)パンフレットは注目されづらい状況があったと思う。

これからは、(デジタル活用により観光客に)直接的に発信される可能性もあり、これまでの観光地のランキングが大きく変えられる時期が来たと感じている。

各市町村や観光協会も同様に考えて、Youtube や発信力の強い人を使ったりなど様々な仕掛けをしてくると思う。

そこで他に負けないよう、(目的地として) 選択してもらえるよう水戸観光の魅力やイメージランキングを上げるような施策に取り組んでほしい。

執行機関 市では、動画等を交えて、旅行会社への営業を行っているところである。
例えば、野村花火工業が手がける千波湖花火大会の生中継をはじめ、各種イベントでも動画を使って、積極的に売り込みをしてまいりたいと考えている。

委員 (他市町村との観光交流人口の比較という点から) 水戸が161万人に対し、阿見町が291万人と県内で1位である。2位が大洗町で280万人、3位がひたちなか市で270万人、4位が笠間市で263万人、5位がつくば市で242万人となっており、水戸市は6位となっている。

同じコロナ禍という状況の中で、なぜこれだけ差が開いているかぜひ考えてほしい。

ちなみに平成30年は、水戸市は5位であった。1位は大洗町、2位はつくば市、3位はひたちなか市、4位は笠間市で、6位は阿見町であった。(令和3年と比較すると) 水戸は阿見町に抜かされたということになる。

阿見町は、平成30年時点であみアウトレットも牛久大仏もあった状況にもかかわらず、なぜ(県内1位まで順位が) 上がったのかを調査して、今後の参考にしてほしい。

委員 (宿泊者数の数値について) 現況値では、41万という数字はどこからきているか。

執行機関 国土交通省観光庁の宿泊旅行統計調査から参照している。

委員 (自身の管理するホテルでは) 宿泊者は4万人程度であった。ホテル旅館生活衛生同業組合水戸支部だけで、約30件の施設があるため、数値が低いように感じる。

また、先ほどソードアートオンラインの説明あったが、以前も刀剣乱舞とコラボレーションして、多くの女性の方にお越しいただいたと認識している。リアルなコンテンツも大事であるが、やはりこれからはアニメであったり、ゲームであったり、そのようなコンテンツとコラボレーションして情報を発信していくことも大切になるではないかと思う。

執行機関 (宿泊者数の数値が低いのではないかと御意見に対し) 観光庁の調査では、水戸市内の全て施設から回答を得られていない現状があると思われる。
しかしながら、(代替となるデータがないため、) 定期的に調査が行われる宿泊旅行統計調査を基準に目標設定をしているところである。

会長 ホテル旅館生活衛生同業組合では宿泊者の数値は集計しているか。

委員 集計していたと認識している。

会 長 ホテル旅館生活衛生同業組合水戸支部として集計した情報があるのであれば、ぜひ市でも活用の検討をしてほしい。

会 長 ちなみに昨年や今年のホテルの宿泊状況はどうか。

委 員 ホテル業界の中でも結婚式やパーティーなどコンベンションに力を入れているホテルはまだまだ厳しいが、ビジネスホテルについては、全国旅行支援等の効果もあり、ここ半年は2019年実績を上回り続けているため、今年は2019年に比べ宿泊者数が増える見込みである。

会 長 団体客よりはビジネス客が多いのか。

委 員 昨年の夏からは学生団体の大会等が開催されているため、団体客も戻りつつある。

委 員 2点お伺いしたい。1点目は、弘道館の入込観光客数の目標設定について、どのような根拠で設定したのか。

2点目は、先ほど（大手門広場において）ベンチ等のお休み処のような機能をいずれ持たせていきたいという事務局からの説明があったが、いずれとはいつ頃を想定しているか、またどこに何を想定しているか。

執行機関 1点目の目標設定の根拠については、過去の実績からの伸び率（推移）で設定している。

2点目の水戸大手門広場の活用方法については、現状で何年度までに実施するといった具体的な考えはまとまっていないため、今後内部で検討しながら、皆様の御意見を参考に進めていきたいと考えている。

委 員 お休み処というのは、施設等のハード整備を想定しているのか。

また（水戸大手門広場について）民間のイベントでも活用可能な場所なのか。

執行機関 新たな施設を作るのではなく、まずはベンチ等の修景施設を想定している。また広場の活用については、水戸観光コンベンション協会と連携して実施する等の一定の条件はあるが、民間の団体でも活用可能である。地元の住民の方の組織と連携して実施するという方法もある。

（イベント等での広場の活用については）さらに経費の一部助成という制度を作っており、そのような側面的支援も行いながら、弘道館・水戸城跡周辺地区を盛り上げていきたいと考えている。

委 員 新たな土産品の開発品数とあるが、この土産品というのは食べ物だけか。その他土産品も含まれているか。

執行機関 優良観光土産品制度という水戸ならではの特色を持った優良の土産品を登録・推奨する制度がある。毎年申請のあった商品の特色、価格やデザインなどを審査の上、登録しており、登録の土産品の中には、食べ物のほかにも伝統工芸品もある。

委員 優良土産品の認定は、市で行っているのか。

執行機関 優良観光土産品審査会という附属機関において、申請のあった商品を審査し、その審査を踏まえて市が認定している。

会長 最近、NHK 等テレビで梅まつりが放送されているが、テレビ等報道に対して仕掛けは行っているのか。

執行機関 報道の方には、なるべく取材をしていただくよう働きかけている。今朝もTBS 様が取材のため借樂園にお越しいただいた。さらに政府に対しても梅大使を連れて梅まつりのPR を行ってきたところであり、引き続き取材に来ていただけるよう発信していきたいと考えている。

会長 商店街は、観光客関係の影響はあるか。

委員 最近、水戸の大通りの商店街では、歩いてる人がまばらであり、梅まつりの時期であってもあまり変わらないように感じる。飲食店等の賑わっている場所も一部ある。

事務局に1点お伺いしたい。おもてなしマイスターの目標値はすでに上回っているところであるが、タクシーの優良乗務員の数値はあまり伸びていない。これらの要因はどのように考えているか。

タクシー会社と連携し、水戸のお越しいただいた方をおもてなしできるタクシー乗務員を増やしてほしい。

執行機関 優良タクシー乗務員の認定数があまり伸びていないことについては、御指摘のとおりおもてなしマイスターの伸び率と比べると、伸び率が低いと感じているところである。

要因の一つとしては、認定のための研修がタクシー乗務員の通常業務の負担となっていた点がある。事務局としては、研修用DVD を配布する等の研修の効率化を図り、2日の研修を1日に集約するよう取り組んできたところである。

まだ目標値には達していない状況であるが、引き続き優良タクシー乗務員になりたいと思えるような制度や研修のあり方を考えていきたい。

委員 水戸観光コンベンション協会のホームページの閲覧者数について、どのページが一番閲覧されているのか。

執行機関 今のところ、合計値のみ把握しており、個別のページは把握できていないため、今後確認したい。

委員 数字が伸びているページを見れば、一目瞭然だと感じている。数字が伸びているページやその時期を把握すれば、ポップアップ等でその他のページも見ていただくような仕掛けもできると思う。

また、残念ながら水戸だけで1日過ごすのは、難しいと思うので、大洗等近隣エリアのイベント時期に合わせて水戸にお越しいただくような取組も重要ではないかと思う。

執行機関 御意見のとおり、観光客にとって行政区域っていうのは、あまり関係がないため、広域圏での観光の推進が非常に重要であると認識している。

市では、笠間市、ひたちなか市や大洗町などと連携し、広域の協議会を設置しており、例えば、広域でのツアー造成や体験をテーマにしたツアー造成等に取り組んでいるところである。それらの取組がまだまだ皆様に実感していただける段階まで到達できていないと感じているため、今後も誘客できるコンテンツを用意して、多くの観光客に巡っていただくよう戦略的に取り組んでいきたいと考えている。

委員 今回の議題の中で、交通に関する記載がないのが周遊性の向上という観点で気になる。個人的には、水戸駅を降りてから、どうやってバスに乗ればいいのかやどこでご飯を食べればいいのか等が分かりづらいと思う。

水戸を訪れるツアーを検索したところ、偕楽園には来るが、観光してお土産を買い、ひたちなか市や大洗町等の観光地へ行ってしまう。

また、個人的に偕楽園や常磐神社付近で仕事をする機会があるが、偕楽園を訪れた方や偕楽園臨時駅を降りられた方が、その後どこに行ったらいいか、水戸駅にどうすれば行けるか等の質問を受けることが多い。

横浜などでは観光のアプリ、乗り物アプリ等があり、そういった案内がないことが気になった。ぜひ皆様の考えを伺いたい。

委員 今回の御意見の中で、アプリについてはすごく賛同できる。

ホテルでの観光案内にあたり、散策マップ（水戸学の道を紹介するために市が作成したもの）をお客様に御案内しているところである。モデルコースが記載されているので、とても良いが、アプリを御紹介できればお客様にとってはより良いと感じた。

委員 観光に対する思いは、皆様それぞれあるからこそ、色々な意見が出てきていると思うので、今後の参考にしていただくこととして、改めて今回の諮問内容を確認したい。

執行機関 今回の諮問は、先導プロジェクトの現況値を中心に進捗状況を御確認いただくこと、さらに新たな観光基本計画の策定スケジュールを御確認いただくことの2点である。

会長 実際に交通アプリ等の動きはあるか。

執行機関 JR様を中心に開始されている。今後は、市でもアプリ等を実験的に取り組んでいきたいと考えているが、新たな観光基本計画の中では、(アプリ等の)具体的な事業を明記するのではなく、デジタルやIT関連の施策として積極的に進めていく旨の表現にしていきたいと考えている。

————— 議案第1号について全て承認 —————

(2) 議案第2号 水戸市観光基本計画(第4次)の策定スケジュールについて

執行機関 <資料4～5ページに沿い、説明>

————— 議案第2号に関する質疑 —————

会 長 当審議会が関わるところを改めて確認したい。

執行機関 あくまで予定ではあるが、令和5年11月頃を目途に観光審議会を開催し、皆様から御意見をいただきたいと考えている。この以外においてもメール等の手段で御意見をいただく機会があるかと思うので、ぜひ御協力いただきたい。

————— 議案第2号について全て承認 —————

(3) その他

会 長 全体を通して、何かあるか。

委 員 コロナ禍の3年間で観光交流人口は下がってしまったが、市はどのようにしたら事業を実施できるかを真剣に考えながら取り組んでいると感じており、それが水戸観光コンベンション協会のホームページの閲覧者数にも反映されているのではないかと思う。

梅まつりの開催以降、新たな取組にもチャレンジしており、それが拡散されることでこの先の明るい話題が増えるのではないかと考えている。

ちなみに借楽園臨時駅のチケットについても、マニアの間では話題となっているところである。

(課題の一つとしては)水戸駅の改札を出て、荷物を預けたい観光客の方がどこに預けてよいか分からないというお困りの声が多いと感じている。バス乗り場に関する案内も同様により分かりやすくなると良い。さらにIT社会の中で、バスで現金しか使えないという状況は解消していただきたい。

今後はより観光客の目線に合わせて、困っていることを少しずつ解消した方が、ネット社会であるため、結果として良い方向に向かうと思う。

データの取り方はたくさんあるので、今後は比較対象するデータをどうするか、基準をどうするかというのが、課題だと思う。

今年、水戸は大きく変わると期待しており、常磐線に乗ると市民会館のポスターが見える。また今年はASEANの50周年で幹事国が日本なので、ターゲ

ットをアジアにしぼるのも良い。12月のG7ではアフターコンベンションも実施して、広域連携で観光客にどう動いて消費してもらうかというアクションを起こした方が良い。

水戸城は日本で1番だと感じており、先日の（夜梅祭の）プロジェクトマップも日本でここだけだと思う。ポテンシャルはものすごくあり、夏の花火大会も敷席を設けて運営していることは素晴らしいと思う。特に素晴らしいのが、水戸駅に出来た地酒コーナーである。

副会長

計画を策定する上で、誰にどうアピールするかというのをはっきりさせた方が良い。水戸は他の観光地にどのように戦っていけば勝てるかというのを突き詰めていかなければならないと埋もれてしまうと思う。

ただイベントを開催していくのではなく、どのようにレガシーを作っていくかが大事であり、どういう価値観を固定して、それを感じてもらうのかというところを明確にしてほしい。

公園がこれだけ街中にある都市はない。例えば、冬の早朝散歩した人にしか感じられない価値観、素晴らしい空間風景もある。水戸は見て楽しむより、感じて感動を得る楽しみ方が合っていると思う。そういった切り口をたくさん見出し、多くの人が体験しやすくするなると良い。

来年2月には全国商工会議所観光振興大会が開催され、全国の商工会議所の役員を中心としたメンバー約4,000人が、メイン会場である水戸市民会館に集まる予定である。ゲストを迎えるため、今は水戸の魅力の洗い出しをしており、改めて水戸の観光の魅力とはどういったものなのかというのをあらゆるジャンルの商工業者が真剣に考えている。ゲストには何かしら形で全国にお持ち帰りいただいて、水戸の魅力を各地で宣伝してもらえることを期待しているので、皆様にも色々と御協力いただきたい。

4 閉 会